



1.レンガタイルや足場板でオールドアメリカンに仕上げたりビング 2.ご夫婦で考えた「いつまでもずっと笑顔で」という言葉が迎えてくれる玄関 3.壁に掛けた60インチのテレビまわりも足場板を貼り、どこか懐かしい雰囲気 4.ナチュラルに仕上げた爽やかな主寝室 5.モダンなニューヨークスタイルでコーディネートしたサニタリースペース

テーマは「カッコいい家」。お気に入りのカフェやアメリカのレ스토랑などで「これ、いい」と思ったものは写真に収め、担当スタッフに連絡。レンガタイルや足場板を使う案もこうして生まれた。夫婦でいろんな話を話し合い、カウンターのサイズ合わせに苦労したり、壁の色に悩んだり：家中のパーツにエピソードがあり、ずっと大切にしたい家ができたと満足の笑顔。

工事費内訳

■解体工事	500,000円
■大工事	2,000,000円
■住宅設備機器	400,000円
■左官・タイル・塗装・クロス工事	1,200,000円
■電気・警報設備工事	700,000円
■キッチン・バス等設備&材料	2,500,000円
■建具・その他工事	500,000円
工事費合計	7,800,000円

# NOSTALGIC. BUT the NEW.

## 時代を超えた「カッコいいけど懐かしい空間」。



1.タイルを張り、カフェ風な演出のエントランス 2.洗面スペースは広めに モザイクタイルを張った洗面まわりは造作 3.サッシの回りを木の枠で囲み、細部まで素材感を統一した主寝室 4.ハコの素材をそろえて、収納内部までコーディネートしたクローゼット 5.タイルの色違いが絶妙な手洗いカウンターを取り付けたトイレ

「レトロ可愛い空間」  
ご夫婦ともに本当に気に入ったものだけを集めて、永く使っていこうという考え方の持ち主。振り子時計や廃校になった学校から払い下げた棚など、どんなものにもエピソードがある。それらのアイテムひとつひとつが主張しているにも関わらず、まとまってノスタルジックな雰囲気を漂わす穏やかな住空間は、とても居心地がいい。

工事費内訳

■解体工事	500,000円
■大工事	2,500,000円
■住宅設備機器	2,200,000円
■左官・塗装工事	550,000円
■電気・給排水工事	650,000円
■無垢材	500,000円
■造作家具・建具	450,000円
■その他	200,000円
工事費合計	7,550,000円